



さくらんぼだよ

11月号

平成29年11月1日

社会福祉法人 北杜福祉会 西多賀チェリー保育園

みんなで繋がる心の触れあい！

9月末日に行った三神峯公園での“のはらまつり”では、実行委員の方々に朝早くから道具運びや会場準備のお手伝いをさせていただきありがとうございました。皆さんにご協力していただき作り上げた連風や縄跳びの縄、そして荒馬などに、のはらまつりの練習のときから、それぞれのクラスで喜んで触れていただけに、本番では、元気いっぱい走ったり跳んだり踊ったりしながら楽しんでいた子どもたちでした。その姿に、皆さんも成長を感じられたのではないかと思います。

親子の触れあい、絆、そして親同士、職員と保護者の方とのつながり、いろんな思いの中でテーマも“つながる”で行った“のはらまつり”でしたが、普段、なかなか顔を合わせる機会も少ない保護者の方たちも、皆さんとお話しができた中で、つながりを感じてもらえたのではないかと思います。これを機に、園生活が、子どもたち、保護者の方たちにとって更に有意義なものになることを願っています。

秋も深まり、園庭の甘柿はいつもの年より数が少なかったのですが、それでも代わる代わる柿を手にしては“かわむいてくださ〜い！”と満面の笑みで言う子どもたち。“小さい子からだよ〜。”と順番を待つ4歳児、5歳児の子どもたちの姿を見ると社会のルールが何気ない日常の事から身についてきていることを感じます。

11月11日(土)はおはなしの広場まつり&バザーです。楽しい曲に合わせて動くボードビル人形劇、昔話のおはなし会や紙芝居、そして、わらべうた遊び。人と触れあいながら、絵本を読んでもらうこと、お話を聞くことの心地よさや楽しさを皆で共有し感じあいながら、子育てに活かして頂ければと思います。

保護者の皆様、おじいちゃん、おばあちゃん、そして地域の皆様、どうぞお誘いの上おはなしの広場まつりにおいでください。

2017・11・1 <園長 中館 和子>



お知らせ



<歯科健診について>

11月8日(水)、11月22日(水)歯科健診があります。
受診時間は7:00~8:30です。100%の受診をめざして2回行っています。
どちらかを選んで必ず時間内に受診をしてください。

<おはなしの広場まつり&バザー>



日時	11月11日(土)	9:00~13:00
第1部	おはなしの広場	9:00~ 9:50
第2部	講演会	10:00~11:00
第3部	バザー	11:15~13:00

おはなしの広場まつりでは、昔話のおはなし会、紙芝居、絵本を題材とした職員による寸劇等、たくさん楽しい児童文化に触れることができます。また、バザーでは、手作り品をはじめ、日用品、野菜などを販売する予定です。

講演会では、絵本などの出版社、福音館より講師をお呼びして、絵本の楽しさをお話ししていただきます。皆さんお誘いの上、是非ご参加下さい。

おねがい

<夕方のお迎えについて>

迎えの時間が夕方6時に間に合っても、そこからの時間が長くなる方が見受けられます。駐車場もかなり混雑しますので、なるべく、15~20分以内には帰られるよう、ご協力お願いします。

行事予定

11月		行事
日	曜日	
7	火	避難訓練(総合訓練)
8	水	歯科健診(1回目)
11	土	おはなしの広場まつり
14	火	発育測定
22	水	歯科健診(2回目)・防犯訓練
24	金	おはなしの広場まつり反省会
28	火	焼き芋会

12月		行事
日	曜日	
5	火	発育測定
6	水	避難訓練
13	水	発表会総練習
16	土	発表会
19	火	誕生会
21	木	もちつき会
28	木	御用納め



子育ての味方…絵本



2017・11・1

NPO法人の「絵本で子育て」センターの森ゆりこ氏の講演録「絵本をよんであげましょう」の中に、昔の幼いころに遊んだ思い出と共に、その時代は子どもたちの遊びの「三つの間」と言われる「時間」「空間」「仲間」のすべてが見事に存在していた時代であったこと、そして、今の子どもたちには、想像もできないような豊かな世界があったことが書かれてありました。

この「三つの間」を考えてみた時、私が幼いころ、60数年前のことが思い出されました。毎日三々五々近所の空き地に集まる子ども達、日が落ちるまで遊び、夕飯や風呂焚き等の仕事をしながらも、その様子を見守ってくれる大人たち、家に帰ってからは家族で食卓を囲み、時にはラジオから流れる物語に耳を傾け、夜寝る前には、母が語る昔話にワクワクドキドキしたことが今でも心の奥に残っています。毎日毎日家族や近所の人たちの温かな見守りの中で過ごした時間、空間、そして子ども集団という仲間、これらが「三つの間」なのかな？と思いました。だとすれば、今の時代には、あり得ないことばかりですが、科学文明の進歩のおかげで家事に費やす時間は、かなり短縮されてきている分、親子で向き合える時間を持てるのではないかと思います。夕飯の後、或いは夜寝る前、ほんの10分か15分でいいのです。色んな事を教えようとしなくても、絵本を子育ての味方にして下さい。子どもの大好きな絵本と一緒に楽しんで下さい。絵本の読み聞かせを通して大好きなおとうさん、おかあさんと一緒に過ごす時間は子ども達にとってはこの上もない幸せ感に浸ることが出来る時間となるのではないかと思います。心をこめて語ってもらったお話はその後心から消え去ることはないと言われています。それはまさにおとうさん、おかあさんからの愛のメッセージに繋がるからではないでしょうか。もうすぐ「おはなしの広場まつり」です。絵本の楽しさを皆さんと一緒に分かち合いたいと思います。



母と子の 絵本棚

「どうすればいいのかな？」

出版社：福音館

(文 わたなべしげお 絵 おおともやすお)

こぐまが一人で着替えようとしています。でも何だか変ですよ。シャツを足からはいてしまったり、パンツを頭からかぶったり…。なんでも一人でやってみたい時期の子どもの生活をちょっと垣間見たような楽しい絵本です。



「おおきな おおきなおいも」

出版社：福音館 あかば すえきち さく・え

子ども達が待ちに待った芋ほり遠足…。でも、当日は何と雨！1週間延期になってしまったものの、その間に大きく育つお芋を想像してみんなで共同して絵具でどんどん描いていき、想像がどんどん膨らんでいく大きなサツマイモをめぐるお話です。



やさしく語りかけて育む言葉

数年前、研修で“脳のそだち”についての話があったことを思い出しました。

脳の育ちとは、生まれたばかりの赤ちゃんは400g、2歳で700g、5歳で1300g、10歳で1375gということでしたが、成人になると何と1400グラム…。まさに0歳から5歳までの間の脳の成長ぶりには驚きでしたが、だからこそ、乳幼児期でのやさしい語りかけの大切さが言われているのだと思いました。良いものも悪いものもみんな吸収してしまう乳幼時期であるからこそ、大人との言葉のやり取りの中で、生活に必要な言葉や、自分の感じたことなどをより豊かに表現できるよう、やさしく語りかけ、言葉を育てていくことが大事なんですね。ヤバイ！ウザイ！等、えっ！こんな言葉どこでおぼえたの？とびっくりするようなこともあります。全て大人の真似をする子どもたち。普段から丁寧に語りかけたいですね。

わらべうたであそぼう

おてぶしてぶし

おてぶしてぶしてぶしのなかに
へびのなまやけ かえるのさしみ
いっちょばこやるから
まるめておくれ い〜や
(おおあたり) (おおはずれ)

3-6 おてぶしてぶし CD 65



遊び方

両手を合わせた中に小さいキャンディーなどを隠し持ち、上下にふって歌います。歌い終わったら「ど〜っちだ！」といい、当てっこします。